

# 児童画に関する指導法の研究 (児童画における指導方法の体系化に関する基礎調査)

最終更新日：2016年4月26日

【プロジェクト代表者】  
美術教育講座  
准教授  
加藤 隆之

## キーワード

・児童画、児童画展、指導法

## プロジェクトの内容 (目的・方法・結果と意義)

本プロジェクトでは、現状の描画指導内容の調査と指導法の資料収集をおこなうことが目的である。研究は、文献による指導法の資料収集と児童画展にまつわる描画指導の課題調査、そして児童画展の審査会場や展覧会場での現地作品調査をおこなった。児童画展の審査会への参加にあたっては、宗像地区図画工作科教育研究会に協力体制をとった。

研究の成果と結論として、制作の過程の充実を求めるのか、もしくは結果としての作品の完成度を求めるのかという二つの方向性の違いが、指導内容に大きく影響していることが明らかとなった。そして完成作品に審査・褒賞を課すか否かの過程が、教員の指導内容にも大きく影響することが分かった。

## 成果の応用可能性 (私たちの活動の成果は、このような分野にこのように貢献することができます。)

収集した指導法の資料は、教育現場での図画指導力の向上に応用が可能であり、教員研修等の場にも還元させることができる。

## このプロジェクトの形成に寄与した制度等

平成27年度学長裁量経費研究推進支援プロジェクト

## プロジェクト構成員 (所属・職名・氏名・役割分担)

なし